

2007年業績

【論文】

1. 原著論文[英文]

- 1) Tamura,H., Yamada,A., Kato,H. Identification and characterization of a dextranase gene of *Streptococcus criceti*. *Microbiol.Immunol.* 51: 721-732 (2007)

【学会】

1. 国内学会発表

- 1) 田村晴希、山田ありさ、加藤裕久 *Streptococcus criceti* デキストラナーゼの部位特異的突然変異分析.第 80 回日本薬理学会年会. 3 月. 名古屋 (2007)
- 2) 佐々木隆子、吉田康夫、伊東俊太郎、國松和司、加藤裕久 *Streptococcus anginosus* の溶血作用に關与する遺伝子の同定と機能解析. 第 49 回歯科基礎医学会学術大会. 8 月. 札幌. (2007)
- 3) 伊東俊太郎、吉田康夫、佐々木隆子、國松和司、加藤裕久 *Streptococcus anginosus* 由来 β C-S リアーゼの基質特異性に關与するアミノ酸配列の解明. 第 49 回歯科基礎医学会学術大会. 8 月. 札幌. (2007)
- 4) 山田ありさ、田村晴希、加藤裕久 *Streptococcus sobrinus* atlg 遺伝子の同定. 第 49 回歯科基礎医学会学術大会. 8 月. 札幌. (2007)
- 5) 田村晴希、山田ありさ、加藤裕久 *Streptococcus downei* の autolysin 遺伝子 alth の同定と機能解析. 第 49 回歯科基礎医学会学術大会. 8 月. 札幌. (2007)

【講演】

- 1) 吉田康夫 口腔バイオフィルムの形成に關与するレンサ球菌の菌体表層多糖 財団法人岩手生物工学研究センター第 131 回公開セミナー 6 月. 北上

【外部資金】

1. 文部科学省・科研費

- 1) 基盤研究 (B) 2007-2009 年度「口腔バイオフィルム誘発性全身疾患に対する新しい予防法の開発」
吉田康夫—研究分担者 (代表: 於保孝彦)

2. その他の研究費

- 1) 独立行政法人科学技術振興機構シーズ発掘試験 2007 年度「歯垢形成抑制効果を持つ多糖の開発」
吉田康夫—研究代表者